

## 製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

平成11年 3月23日作成 平成21年 1月10日更新(記載変更なし)

## 1. 製造者情報

【会社名】株式会社 オーデック

【住所】東京都大田区東馬込2-19-10第7下川ビル

【担当部門】エアゾール製品担当部

【電話番号】03-3774-5259 【FAX番号】03-3776-0881

【緊急連絡先】03-3774-5259 / 03-3771-6803

## 2. 製品名 BNリリース

## 3. 製品仕様 エアゾール

## 4. 物質の特定

【単一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】窒化硼素分散体とジメチルエーテル(DME)の混合物

【成分、含有量及びその他情報】

窒化硼素(BN) 4%【化学式】BN 【官報公示番号】化審法:1-68 【CAS】10043-11-5 【PRTR法】第一種304(17g含有)  
水 45%【化学式又は構造式】H<sub>2</sub>O 【CAS】7732-18-5マグネシウム-アルミニウム硅酸塩 1%

【CAS】12173-47-6

ジメチルエーテル(DME) 50%【化学式】CH<sub>3</sub>OCH<sub>3</sub> 【官報公示番号】化審法:2-360 【CAS】115-10-6 【国連分類/番号】クラス2.1/1033

## 5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】 高圧ガス

【危険性】 火災・爆発性 噴射剤に使用しているジメチルエーテルは容易に爆発する。又、ジメチルエーテルは空気より重いため、低所に滞留する。

【有害性】 有毒性 原液を口に入れると口内炎を起すことがある。飲み込むと腹痛を起すことがある。眼に入ると眼炎を起すことがある。 噴射剤のジメチルエーテルは麻酔作用があり、眼および気道を刺激する。その急速な気化の際、空気は排除される(窒息危険)

## 6. 応急措置

【皮膚に付いた場合】 石鹼水でよく洗う。

【目に入った場合】 直ちに清浄水で15分以上洗眼し、場合によっては医師の手当を受ける。

【吸入した場合】 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、場合によっては速やかに医師の手当を受ける。

【誤飲した場合】 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしない。

## 7. 火災時の措置

【消火方法】 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物などの冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

【消火剤】 粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡（アルコホーム）が有効である。

8. 漏洩時の措置
- ・少量の場合は、漏洩した液は土砂等で吸着させさせて空容器に回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。
  - ・大量の場合は、漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、出来るだけ容器に回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
  - ・この場合、河川等に排出されないように注意する。

## 9. 取扱及び保管上の注意

【取扱】 ・吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。  
 ・高温物、スパーク、火炎を避ける。  
 ・使いきって捨てること。  
 ・換気に注意して、保護マスク等を着用する。  
 ・小児の手の届かないところで取り扱うこと。

【保管】 ・直射日光を避け、温度が 40℃ 以上にならない場所に保管すること。  
 ・酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に置かない。

## 10. 暴露防止措置

【管理濃度】 —

【許容濃度】 —

【設備対策】 安全管理 測定機：可燃性・有毒ガス測定機、可燃性ガス警報機、ガス検知器  
 貯蔵上の注意 火気厳禁、直射日光を避け冷暗所保管(温度が40度以上となる場所には置かない)  
 保護具 換気、呼吸用保護具、保護手袋、安全ゴーグル

## 11. 物理／化学的性質

【外観】 原液は白色水溶液 【臭い】 ほぼ無臭 【比重】 1.02(25℃)\*原液として 【pH】 pH7  
 【引火点】 -41.1℃ \*噴射剤のDME単体として/\*原液としては不燃性 【発火点】 350℃ \*DMEとして  
 【沸点】 -24.9℃ \*DMEとして / 約100℃ \*原液として【蒸気圧】 10-20 \*原液として【溶解度】 水に可溶、アルコール、エーテルに混和しやすい 【エアゾール缶の製品圧力】 3.8±0.3kg/cm<sup>3</sup>(25℃)

## 12. 危険性情報

【原液】 引火点： なし 発火点： なし  
 可燃性： なし 発火性(自然発火性、水との反応性)： なし  
 【噴射剤】 引火点： -41.1℃ 火点： 350℃  
 爆発範囲： 3.4～18 vol.% (2.0～50vol. %:IMDG)  
 可燃性： あり 発火性(自然発火性、水との反応性)： なし  
 酸化性： なし  
 混触等： 危険性有り(酸化剤との混触により発火することがある)

### 13. 有害性情報

- 【皮膚に触れた場合】 エアゾールから噴霧された液を直接触っていると凍傷が起ることがある。
- 【眼に入った場合】 粘膜に付着したとき炎症をおこす。
- 【吸入した場合】 ジメチルエーテルは麻酔作用があり、眼および気道を刺激する。  
その急速な気化の際、空気は排除される(窒息危険)

#### 急性毒性

\*ジメチルエーテルのデータ

(RTECS) ◇吸入毒性      マウス      LC50      386ppm/15M

### 14. 環境影響情報

- 【分解性】 測定データなし
- 【蓄積性】 測定データなし
- 【魚毒性】 測定データなし

### 15. 廃棄上の注意

- ・事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、(処理する場合は条例などに基づいて処理して下さい)又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。      ・投棄禁止
- ・エアゾール缶としては、使いきって捨てること。
- ・これを含む排水は油水分離、活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない

### 16. 適用法令

- ・高圧ガス取締り法      第2条(液化ガス)一般高圧ガス保安規則第2条(可燃性ガス)\*DME
- ・航空法      施行規則第194条告示別表第2 高圧ガス      D-旅客禁止\*DME
- ・港則法      施行規則第12条危険物告示高圧ガス\*DME
- ・P R T R 法      該当物質      硼素化合物を1製品あたり17g含有

### 17. その他

- 文献：・危険物データブック： 消防庁警防研究会(昭和63年)
- ・13599の化学商品： 化学工業日報社発行
  - ・化学品安全管理データブック： 化学工業日報社発行
  - ・適用法規総覧： 化学工業日報社発行
  - ・日本化学会編『化学便覧基礎編』

記載内容の問い合わせ先： エアゾール製品担当部      TEL： 03-3774-5259

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。